

令和4年度の総合事業の事業評価

1 総合事業

〈プロセス指標〉

以下の7項目について、事業を効果的かつ効率的に実施するための企画立案、実施過程等のプロセスについて、適切にできているかを年度ごとに4段階で評価する。

4段階の評価 (1.できている、2.ある程度できている、3.あまりできていない、4.できていない)

指 標	評価段階	評価理由
① 地域包括ケアシステムの構築に向けた基本方針及び目的を共有できるよう、総合事業の企画・実施・評価のプロセスの中で、地域住民の意見収集や協議への住民参画が行われているか。	2.ある程度できている	支え合う地域づくり協議体構成員に住民代表者を配置しており、毎年、協議体において地域住民の意見収集や協議への住民参画が行われている。 R4年度は、支え合う地域づくり協議体を1回開催した。 また、第9期介護保険事業計画策定に向けて、介護予防・日常生活圏域二一ズ調査を実施し、高齢者の生活状況等の把握を行った。 ※ 令和2年度より、大崎上島町社会福祉協議会へ生活支援体制整備事業

		を委託し、生活支援コーディネーター配置及び協議体の設置を行っている。
② 地域包括ケアシステムの構築に向けた基本方針及び目的を共有できるよう、介護サービス事業者、医療機関、民間企業、NPO 法人、社会福祉法人、社会福祉協議会、地縁組織、協同組合、住民等のあらゆる関係者に働きかけを行っているか。	2.ある程度できている	関係者が参加する在宅医療・介護連携推進会議を 1 回、支え合う地域づくり協議体を 1 回開催し、関係者に働きかけを行った。
③ 自治会、社会福祉協議会、民生委員、老人クラブ、ボランティア、NPO 法人、社会教育関係者の活動状況等について地域資源として適切に把握できているか。	3.あまりできていない	支え合う地域づくり協議体構成員に各代表者を配置しており、R4 年度は、1 回開催した。 令和 5 年度から、以前協議体において作成した地域資源マップをマップ化することで各関係者と地域資源マップを共有し、見える化することを予定している。

<p>④ 介護予防の推進、生活支援の充実に関する行政課題を整理できているか。</p>	<p>1.できている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・住民主体の通いの場（いきいき百歳体操）は現在 30 か所で実施しており、残り 1 か所についての働きかけが必要である。 ・1人で買い物や公共交通機関の利用等が困難で、自立した日常生活に支障がある 65 歳以上の高齢者を対象に、シニアカーの購入またはレンタル費用の助成を行い、高齢者の方の外出する際の利便性の向上を図る。(3 分の 1 以内で上限 10 万円の助成) ・身近な商店が少なくなり、日々の買い物ができなくなっていることから、JA において移動販売車の巡回及び電話注文による個別配達を行っている。
--	----------------	---

<p>⑤ 介護予防の推進、生活支援の充実を図っていくうえで、長期的な視点をもって具体的な戦略を立てられているか。</p>	<p>2.ある程度できている</p>	<p>・介護、福祉人材が不足する中で元気な高齢者による社会参加の促進のため、介護支援ボランティア活動事業を実施しているが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、施設ボランティアが中止状態である。</p> <p>令和4年度は、今後の活動に向けて、介護支援ボランティア協力員研修会を開催し、事業所と協力員とで新たな活動づくり等について検討した。</p> <p>・一人暮らしや高齢者のみの世帯の増加を見据えた生活支援ニーズへの対応。</p>
<p>⑥ 総合事業に関する苦情や事故を把握しているか。</p>	<p>1.できている</p>	<p>地域包括支援センター、指定介護サービス事業所等と連携している。</p>
<p>⑦ 関係機関（地域包括支援センター、医療機関、民生委員等）において情報を共有するため、共有する情報の範囲、管理方法及び活用方法に関する取り決めをしているか。</p>	<p>2.ある程度できている</p>	<p>個々の会議では、それぞれ取り決めはあるが、横断的な情報共有において取り決めはない。</p>

〈アウトカム指標〉

以下の定量的指標を用いて、総合事業による効果の評価を行う。

指 標	評価方法					
① 65歳以上新規申請者数及び割合	令和2年度末		令和3年度末		令和4年度末	
	144人/3,435人		139人/3,348人		157人/3,256人	
	4.2%		4.2%		4.8%	
② 65歳以上新規認定者数及び割合 (要支援・要介護度別)	令和2年度末		令和3年度末		令和4年度末	
	要支援	要介護	要支援	要介護	要支援	要介護
	73人	98人	61人	78人	56人	72人
	2.1%	2.8%	1.8%	2.3%	1.7%	2.2%

<p>③ 65歳以上要支援・要介護度認定率 (要支援・要介護度別)</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">令和2年度末</th> <th colspan="2">令和3年度末</th> <th colspan="2">令和4年度末</th> </tr> <tr> <th>要支援</th> <th>要介護</th> <th>要支援</th> <th>要介護</th> <th>要支援</th> <th>要介護</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>177人</td> <td>669人</td> <td>165人</td> <td>572人</td> <td>156人</td> <td>537人</td> </tr> <tr> <td>5.2%</td> <td>19.5%</td> <td>4.9%</td> <td>17.1%</td> <td>4.8%</td> <td>16.5%</td> </tr> </tbody> </table>	令和2年度末		令和3年度末		令和4年度末		要支援	要介護	要支援	要介護	要支援	要介護	177人	669人	165人	572人	156人	537人	5.2%	19.5%	4.9%	17.1%	4.8%	16.5%
令和2年度末		令和3年度末		令和4年度末																					
要支援	要介護	要支援	要介護	要支援	要介護																				
177人	669人	165人	572人	156人	537人																				
5.2%	19.5%	4.9%	17.1%	4.8%	16.5%																				
<p>④ 日常生活圏域ニーズ調査等による健康に関する指標の状況</p>	<p>介護予防・日常生活圏域ニーズ調査（令和4年度実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> 調査期間：令和4年11月14日～11月30日 調査対象：大崎上島町に居住し、要支援1・2の高齢者、総合事業対象者、 要介護認定を受けていない65歳以上の高齢者2,000人 回収状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>配布数</th> <th>回収数</th> <th>回収率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,000件</td> <td>1,363件</td> <td>68.2%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 第9期介護保険事業計画策定に伴い、令和4年度実施</p>	配布数	回収数	回収率	2,000件	1,363件	68.2%																		
配布数	回収数	回収率																							
2,000件	1,363件	68.2%																							

⑤ 介護予防・日常生活支援総合事業の費用額	令和2年度(円)	令和3年度(円)	令和4年度(円)
	24,939,807	30,130,937	28,337,279
⑥ 予防給付と介護予防・日常生活支援総合事業の費用総額	令和2年度(円)	令和3年度(円)	令和4年度(円)
	48,986,224	49,224,011	47,275,468

2 総合事業（介護予防・生活支援サービス事業）

〈プロセス指標〉

以下の6項目について、事業を効果的効率的に実施するための企画立案、実施過程等のプロセスについて、適切にできているかを年度ごとに4段階で評価する。

4段階の評価（1.できている、2.ある程度できている、3.あまりできていない、4.できていない）

指 標	評価段階	評価理由																												
① 窓口で相談に来た高齢者に対し、総合事業の目的、内容、サービスメニュー及び手続き方法について十分な説明を行っているか。	1.できている	<p>パンフレット等を活用し、総合事業の目的、内容、サービスメニュー及び手続き方法について説明を行っている。電話での相談も多く地域包括支援センターにて訪問等行い、対応を行っている。</p> <p>【令和4年度 相談件数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>電話・メール</th> <th>来所</th> <th>訪問</th> <th>その他</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>163</td> <td>56</td> <td>26</td> <td>15</td> <td>260</td> </tr> </tbody> </table> <p>【令和4年度 対応実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>相談</th> <th>情報提供</th> <th>連絡調整</th> <th>家庭訪問</th> <th>取次斡旋</th> <th>申請代行</th> <th>確認聞取</th> <th>実態把握</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>38</td> <td>167</td> <td>240</td> <td>263</td> <td>67</td> <td>169</td> <td>182</td> <td>111</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>	電話・メール	来所	訪問	その他	計	163	56	26	15	260	相談	情報提供	連絡調整	家庭訪問	取次斡旋	申請代行	確認聞取	実態把握	その他	38	167	240	263	67	169	182	111	2
電話・メール	来所	訪問	その他	計																										
163	56	26	15	260																										
相談	情報提供	連絡調整	家庭訪問	取次斡旋	申請代行	確認聞取	実態把握	その他																						
38	167	240	263	67	169	182	111	2																						

② 介護予防ケアマネジメントに関する様式が統一されているか。	1.できている	国の様式を参考に様式を作成し、様式を統一している。
③ 介護予防・生活支援サービス事業の実施状況を把握しているか。	1.できている	各事業所と定期的に情報交換を行うなど実施状況等の把握を行っている。
④ 介護予防・生活支援サービス事業の実施量と需要量の関係を的確に把握しているか。	2. ある程度できている	月毎のサービス実施状況を作成し把握している。
⑤ 介護予防・生活支援サービス事業の実施状況の検証に基づき、次年度以降の実施計画の見直しを行っているか。	1.できている	計画に基づく実施状況を「取組と目標に対する自己評価シート(実績評価)」で評価及び検証を行い、町のHPへ掲載している。
⑥ 要支援者及び介護予防・生活支援サービス事業対象者の個人情報が共有されることについて、十分な説明を行い、同意を得ているか。	1.できている	個人情報利用同意書にて説明・同意を得ている。

以上の定性評価に加えて、以下の定量的指標を用いて介護予防・生活支援サービス事業の実施状況の評価を行う。

指 標	評価方法					
① 介護予防ケアマネジメント依頼書受理件数	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	-		20件		28件	
② 介護予防・生活支援サービス事業の実施状況 ※ 上段：延べ人数（人）、下段：費用額（円）	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	訪問型 サービス	通所型 サービス	訪問型 サービス	通所型 サービス	訪問型 サービス	通所型 サービス
	-	-	463	613	399	680
	-	-	6,876,495	13,289,576	5,343,638	12,339,313

〈アウトカム指標〉

指 標	評価方法
① 主観的健康感	通所型サービスC参加者へ実施 通所C実施前： まあよい0人、ふつう6人、あまりよくない1人 通所C実施後： まあよい1人、ふつう5人、あまりよくない1人

3 総合事業（一般介護予防事業）

〈プロセス指標〉

事業を効果的効率的に実施するための企画立案、実施過程等のプロセスについて、適切にできているかを年度ごとに評価する。

指 標	評価方法
① 地域の多様な主体との連携	通いの場支援等の会議の開催。（リハビリテーション部門連携推進会議）
② 関係団体との連携による専門職の関与	地域包括支援センター、町内事業所施設に勤める療法士及び町外のリハビリテーションサポートセンター療法士の関与がある。
③ 通いの場への参加促進（ポイント等）	保健衛生課が主管するポイント付与制度（わくわく元気ポイント）の実施。 （上限：50ポイント おと姫カード5,000円分と交換）
④ 通いの場に参加する高齢者の状況の把握の実施	年1回の体力測定とアンケート調査の実施。 ※ 体力測定を希望しない通いの場においては実施しない。

〈アウトカム指標〉

指標	評価方法
① 通いの場をはじめとする社会参加の拡大	高齢者人口の10%以上の参加率の維持向上。 ポイント付与制度（わくわく元気ポイント）交換者数の増加傾向。